

熊野古道の町並みを活かしたイベント「近露まるかじり体験」

NPO古道の里に花と愛
代表 多瀬勝利・○島津真裕美

1. 活動方針 目的

過疎化している山村を世界遺産登録をきっかけに地域をあげて盛り上げて生きたい。という思いから世代を越えて何度も話し合い、どのようにすれば熊野古道を歩く人や、国道311号線を通り過ぎ本宮、那智勝浦方面に行く観光客を近露に立ち寄ってもらえるのか、自分たちが住んでいる地域の良さ、魅力を考えてみた。住民が我が故郷の魅力を再発見し、元気になることでたくさんの人々に近露に訪れてもらい地域を盛り上げたい。

2. 活動内容

11月3日 野中の獅子舞の開催日に合わせて中辺路町近露道中地区の民家の庭、家屋をかりて特産品、手作り品などの販売。オープンカフェ、琴の演奏、野点、いけばな体験、語り部同行の古道ウォークなどを行い、地域内外の交流を図る。平成18年11月19日に行った第1回目には雨天にもかかわらず約1000人、第2回目の昨年は天候にも恵まれ約3200人が訪れてくださる。このイベントを1日だけのものに終わらせず、休耕田に睡蓮の植栽や、熊野古道沿いの水田等に花木の植栽を行うなど隨時近露の沿道各所に花の植栽を行っており、住民が主体となって景観の美化等に取り組んでいる。

3. 今後の課題等

過去2回は日本風景街道熊野の関連などで国土交通省、和歌山県、田辺市の協力があったが、以後は私たちだけの手でしていくかなければならない。11月3日といえば獅子舞と近露まるかじり体験といつてもらえるくらいこれからもずっと続けて生きたい。

またイベントの内容は老若男女を問わず参加できお互いの良さがだせるような内容にしていかなければならぬ。

観光・歴史・文化

熊野古道の町並みを生かしたイベント

「近露まるかじり体験」

NPO古道の里に花と愛

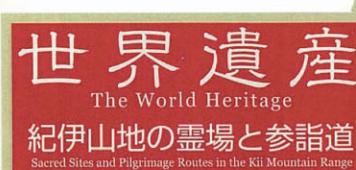
代表 多補 勝利
島津 真裕美

“近露まるかじり体験”開催までの動機・経緯

和歌山県田辺市中辺路町近露地区は、世界遺産“紀伊山地の霊場と参詣道”の中辺路ルートの中心地で、四方を山に囲まれた盆地にある。しかしながら、

過疎化している山村を世界遺産登録をきっかけに、地域をあげて盛り上げたい。

という思いから、世代を超えて何度も話し合い、どのようにすれば熊野古道を歩く人や、国道311号線を通り過ぎ本宮、那智勝浦方面に行く観光客を近露に立ち寄ってもらえるのか、自分たちが住んでいる地域の良さ、魅力を考えてみた。



和歌山県田辺市
中辺路町近露

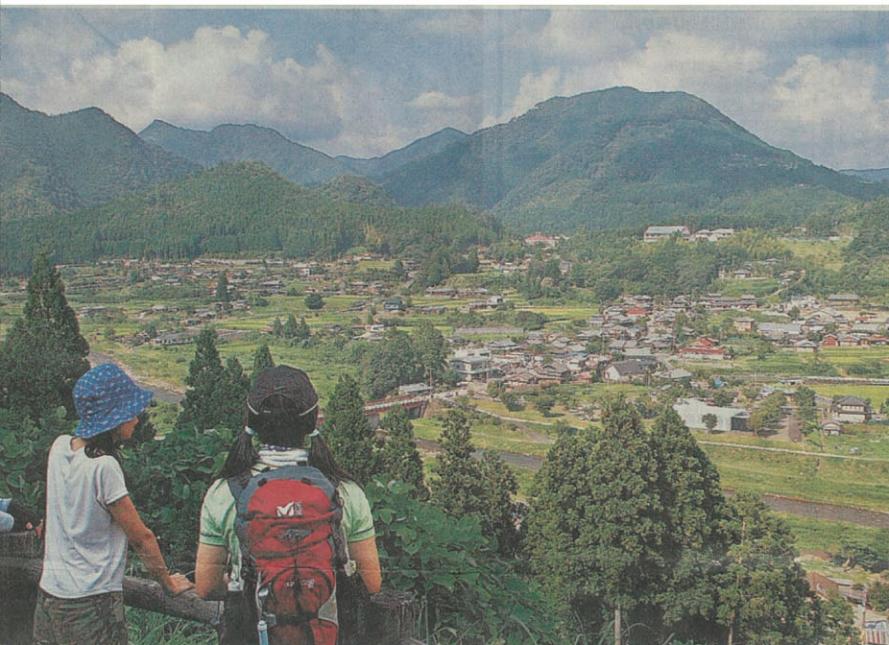
住民が我が故郷の魅力を再発見し、元気になることでたくさんの人に近露に訪れてもらいたい地域を盛り上げたい。

という思いから、2005年6月地元のまちづくり団体として設立したNPO“古道の里に花と愛”を中心に、**熊野古道の町並みを生かしたオープンカフェ“近露まるかじり体験”を、平成18年11月19日と平成19年11月3に開催。**

“近露まるかじり体験”開催までの動機・経緯



平成19年8月27日「朝日新聞」掲載



滝尻王子から古道を約6時間。山を抜けると近露の集落が。ここにたどり着き人々はホッと一息ついたことだろう=田辺市中辺路町近露で

“近露まるかじり体験”開催内容の紹介



平成18年11月19日

第1回目は、雨にもかかわらず、約1,000の方に来訪頂いた。

平成19年11月3日

第2回目は、天候にも恵まれ、約3,200の方に来訪頂いた。

野中の獅子舞の開催日に合わせて、中辺路町近露道中地区の民家の庭、家屋をかけて特産品、手作り品などを販売。

オープンカフェ、琴の演奏、野点、いけばな体験、語り部さん同行の古道ウォークなどを行い、地域内外の交流をはかった。

このイベントを1日だけのものに終わらせず、休耕田に睡蓮の植栽や、熊野古道沿いの水田等に花木の植栽を行うなど、隨時、近露の沿道各所に花の植栽を行っており、住民が主体となって景観の美化等に取り組んでいる。

